

大名行列が厚狭のまちを練り歩く 厚狭秋まつり

SCENE 1



厚 狭秋まつりが、11月11日、厚狭駅前商店街を中心に開催されました。駅前特設ステージでは、歌や踊り、もちまき、福引大会など多彩な催しが行われ、多くの人でにぎわいました。市指定無形民俗文化財として保存継承されている古式行事(大名行列)も披露され、大行司や小行司に扮した41人が厚狭のまちを練り歩きました。「アーヨイセー。アーヨイヤサノサー。アーコレワイサノサー」という独特の掛け声と、六方を踏む所作に、多くの人が足を止め、魅入っていました。



SCENE 2

きららガラス未来館 ガラスの年賀スタンプ制作

毎 年恒例の郵便局とのコラボ企画「ガラスの年賀スタンプ制作」が11月3日、きららガラス未来館で行われました。参加者は、ガラスのペーパーウェイトに文字やイラストを彫って、オリジナルのスタンプを制作。完成したスタンプを台紙に押して笑顔を見せてくれました。



SCENE 3

「命のぬくもり」授業 中学生が乳幼児とふれあう

乳 幼児とのふれあいを通じて命の大切さを学ぶ授業「命のぬくもり」。11月8日、小野田中学校3年生を対象に行いました。生徒は、乳幼児の母親や母子保健推進員からアドバイスを受けて、乳幼児を優しく抱っこ。小さな命のぬくもりを肌で感じると、自然と笑顔がこぼれていました。